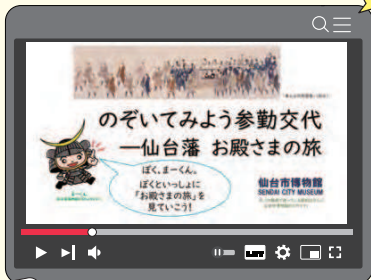


おうちで楽しむ展覧会

仙台市博物館では、休館中も博物館の資料を皆さまにご紹介できるよう、自宅で楽しめる動画を作成し、せんだいTube（仙台市公式 YouTube チャンネル）を通じて情報発信を行っています。

せんだいTubeで
配信中!

仙台市内の各図書館で
DVDの貸出を行っています。



動画の視聴は
こちら!



動画の視聴は
こちら!

NEW!

のぞいてみよう参勤交代 一仙台藩 お殿さまの旅

江戸で生まれた仙台藩13代藩主・伊達慶邦(楽山公)が、天保13年(1842)に初めて仙台入りした際の大名行列を描いた「楽山公行列図巻」をもとに、参勤交代の制度や旅のようすをわかりやすくまとめています。

受け継ぐ 一仙台の伝統門松

仙台市博物館が参加する仙台・宮城ミュージアムアライアンス(SMMA)と歴ネットでは令和3年度に、「仙台の伝統門松」ができあがるまでのようすを収録した映像作品を制作しました。

Event Information

歴ネットイベント

「仙台門松の展示」

歴ネットでは、泉根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる方の協力を得て、仙台門松を復元・展示しています。今ではあまり見られなくなった仙台門松の姿を、この機会にぜひご覧ください!

期間

12月中旬～令和5年2月中旬

(展示期間は施設ごとに異なります。日程が決まりしだい、博物館ホームページなどでお知らせします)

会場

(歴ネット施設)

史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設、瑞鳳殿、
仙台市戦災復興記念館、仙台市縄文の森広場、
仙台市歴史民俗資料館、仙台文学館、地底の森ミュージアム
※仙台市博物館は休館中のため、今年度は宮城野図書館入り口に門松を展示します。

歴ネットとは?

仙台市内にある歴史・文化系ミュージアム9館がつながり活動する「仙台歴史ミュージアムネットワーク」の略称です。

問 歴ネット事務局(仙台市博物館) ☎ 022-225-3074

仙台市博物館×宮城野区中央市民センター共催事業

第44回仙台市史講座

「蒲生の移り変わり～近世から近代～」

東日本大震災で一変した蒲生地区の歴史的変遷を、地形の変化や新しい時代の交通システムの影響などをふまえて考えます。

申込制
聴講無料

【日時】令和5年2月18日(土)13:30～14:40(開場13:00)
【会場】宮城野区中央市民センター 第3会議室
【定員】50人(応募多数の場合は抽選)
【講師】畑井洋樹氏(仙台市歴史民俗資料館学芸室長)
【申込】令和5年1月25日(水)まで(当日消印有効)
往復はがきに、講座タイトル・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入し、下記までお申し込みください(1通につき1人まで)。

<あて先> 〒980-0862 仙台市青葉区川内26 博物館「市史講座」係

問 仙台市博物館 ☎ 022-225-3074 ※駐車場(有料)には限りがありますので、公共交通機関でのご来場にご協力ください。

仙台市博物館

〒980-0862 仙台市青葉区川内2-6 <仙台城三の丸跡>



仙台市博物館 イベントの開催など最新の情報をホームページでお知らせしています。

TEL 022-225-3074

FAX 022-225-2558



※新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、イベントが中止になる場合があります。
※再生紙を使用しています。この印刷物はリサイクルできます。

休館中の

仙台市
博物館
だより

HAKUBUTSUKAN DAYORI

vol.
207
2022.12月
2023.2月



仙台藩13代藩主・伊達慶邦が、参勤交代を終え江戸から仙台に向かう際の行列を描いた巻物です。行列を描いた部分は約50mにもなります。大名の格によって槍の数や藩主の乗物の様式、道具などが異なっており、まさに人に「見える」ための行列でした。

▲巻5より、駕籠に乗る楽山公(伊達慶邦)

表紙の資料
らくざんこう
楽山公行列図巻
より部分
仙台市博物館蔵



資料の全体(全11巻)



(大きさは各巻15.3cm×総長5203.1cm)

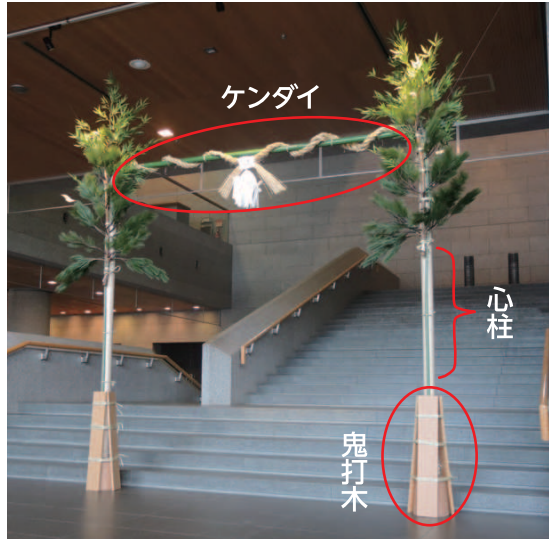
歴史と文化を未来につなぐ
— 観る、知る、楽しむ。学んで、考える博物館 — SENDAI CITY MUSEUM

資料をみる目 いろいろ 歴史 × 子ども

歴史の目 江戸時代の仙台の門松

もともと門松は地域によって形、大きさ、使う木材までさまざまでした。江戸時代の仙台下やその周辺地域で飾られたものは、門のような形をしていました。両脇に栗の木などの心柱を立て、枝が左右対称に分かれた大きな松と笹竹を添え、上部にも竹を横に渡して繋ぎ、ケンダイと呼ばれるしめ飾りを付けます。根元には鬼打木と呼ばれる割木が添えられていました。

仙台城では、大手門を始めとした多くの門に根白石村(泉区)から切り出されて運ばれた松などにより、この形の門松が飾られていました。残された資料から、高さ4m近くにもなる大きなものだったことがわかります。



▲仙台市博物館のエントランスホールで行われた仙台門松の再現展示(令和2年)

子どもの目

Q 門松ってなあに?
A お正月に、新しい年の幸せを運ぶ神様(年神)がやってきて宿るものとして、家の門や入口に立てたといわれている飾りのことだよ。今よく見られるのは、ななめに切った三本の竹を中心に立て、松で周りを囲み、下をわらなどで巻いたものだよ。仙台門松とはちがう形をしているね。

Q 仙台門松があまり見られなくなったのはどうして?
A 仙台門松を作るには、材料となる大きな松をたくさん切ることになるので、江戸時代にはぜいたく品として禁止されたり、昭和20年には環境に良くないと言われたりしたんだ。それに材料を用意するのも作るのも大変だから、門松を作る人が減って作り方もわからなくなり、今はあまり見られなくなっちゃったんだよ。

Q 仙台門松はどこで見られるの?
A 歴史ネット施設で見られるよ。くわしくは、この博物館だよりの歴史ネットイベントを見てみてね。



▲「天明飢死図集」(写本・部分)に描かれた佐沼(登米市)の門松 (仙台市博物館蔵)

仙台門松

仙台市博物館では正月に江戸時代の仙台地域に飾られていた伝統的な門松を復元し、歴史ネット参加館と協力して再現展示を行っています。今回は、その門松の特徴や歴史的背景を紹介します。

古文書 ワンフレーズ

書き止め

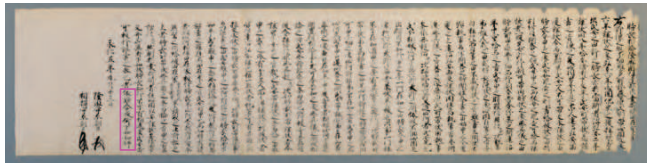
読み方
 鎌倉殿の
 仰せに依って
 下知件の如し

意味
 鎌倉殿のご命令によってこのように命ずる

依鎌倉殿仰下知如件

伊達郡桑折(福島県桑折町)の所領をめぐる裁判で、勝訴した伊達時長(桑折氏の先祖)に与えられた判決書です。仙台市博物館収蔵の古文書では最も古いものです。ちなみに「執権」は鎌倉幕府の政務を統括する重職ですが、「連署」はこの古文書に見られるとおり、執権に連ねて署名(連署)することが由来となった職名です。

鎌倉幕府(関東)による民事裁判の判決書などの文末に記された定型の一文(書き止め)です。直接の命令者である「執権」の北条貞時(左)とその補佐役である「連署」の北条宣時(右)が花押(サインの一種)を用いて署名しています。幕府の実権を握った北条氏ですが、公文書での命令には、鎌倉殿(将軍)のご命令によったという形式をとる必要がありました。



関東下知状 永仁5年(1297)9月13日 重要文化財 仙台市博物館蔵

これ、なあに? 道具でのぞく博物館

レプリカ

当館では、「本物の魅力やよさを感じ、地域の歴史や文化を学んでほしい」という思いから、展示資料のほとんどが実物(実物資料)ですが、時にはレプリカ(複製資料)を展示します。レプリカの中には材質や色、形、大きさなど実物とそっくりつくられているものもあります。では、なぜ、レプリカを展示するのでしょうか?それは、代わりにレプリカを展示することで、実物を良い状態で永く保存できるからです。また、レプリカは展示だけでなく、体験イベントなどで使用することもあります。それらを通して多くの方に見てもらったり、触れてもらったりすることで、さらに実物へ興味を持っていただく機会にもなります。

博物館が使っている道具を通して、博物館の仕事のぞいてみませんか。今回は、文化財の保護・展示・教育普及などで活用されるレプリカを紹介します。

本物と同じくらいで、重さや大きさ、着心地などを実際に感じることができます!

レプリカ大活躍!
 ~変身タイム~
 レプリカのよらいなどの着付け体験を行う「変身タイム」は、プレイミュージアムでも人気の高いイベントです。



▲変身タイムの様子(平成30年)

教える! 休館中のミッション

博物館出前授業—博物館の学習プログラムを学校現場にお届けしています!

「博物館の学習プログラムを学校の授業の中で体験させたい」。当館では、学校からのご要望にお応えするため、担当職員が仙台市内の学校に出向いて学習・体験プログラムを行う「出前授業」を実施しています。中でも人気ののが、社会科「伊達政宗と仙台」と図画工作・美術科の家紋の形を切り抜く「もんきりがたで遊ぼう」です。当館の収蔵資料の紹介を通じて、仙台の歴史や文化を楽しみ学んだり体験したりすることのできる「博物館ならではの」内容となっています。仙台市内の学校の先生方!ぜひご利用ください。



▲博物館出前授業「伊達政宗と仙台」の様子